

令和6年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会が出された主な意見

○ 「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の進捗状況について

- ・こども家庭センターの設置について、寄せ集めているような雰囲気があり、まだ横の連携が十分できていないように感じる。
- ・若年の性感染症の広がり、特に梅毒については非常に憂慮すべきである。
- ・ライフプラン教育の実施市町数がコロナを理由に減少したとあるが、実施できている市町もあるため、取組が戻ってくるとよい。
- ・子どもの自殺数は全国的にも増えている。多方面から様々な対策を実施しているとは思いますが、学童期・思春期における大きな問題である。
- ・特定妊婦を把握するには、母子手帳を自主的にもらいに来てもらう必要があるが、誰にも言わず隠れた状態で、妊婦健診も未受診といった方をどうやって見つけるのかも課題である。

○ 「健やか親子いきいきプランみえ」の改定について

- ・妊婦歯科健診の受診率や、子どもの口腔機能の発達不全について、次期計画で取り入れていただきたい。
- ・子どもの権利、子ども主体という考え方を理念の部分に入れてはどうか。また、子どもに権利があるということを、教育とも連携して伝えていく必要があるのではないか。
- ・医療的ケア児への支援は、死とも直結するような課題であるため、「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」以外の課題においても、医療的ケアの視点が入れるとよいのでは。
- ・「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」の中に、性に関する問題だけでなく、心の健康という概念を盛り込むことが必要ではないか。

○ 今後の対応方針

いただいた意見を踏まえ、次期計画「健やか親子いきいきプランみえ（第3次）」の策定を進めてまいります。